

令和5年11月8日

滝沢市議会議長 角掛 邦彦 様

会 派 名 市民クラブ
代表者名 山谷 仁

政務活動（調査研究・**研修**・要請陳情等）実施報告書

滝沢市議会の政務活動費の交付に関する条例第9条に規定する使途基準に基づき、政務活動（調査研究・**研修**）を実施したので、報告します。

記

1 期日

令和5年10月17日（火） から 令和5年10月18日（水） まで

2 活動場所

日本青年館ホテル 8F カンファレンスルーム

3 参加者

山谷 仁、柳橋 好子、齋藤 明、日向 裕子

4 活動内容

別紙のとおり

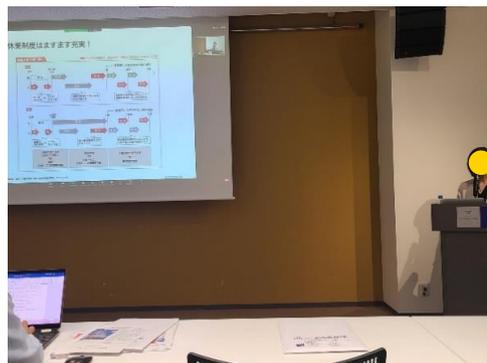
政務活動シート

調査主体：市民クラブ

調査項目名称	調査研究(視察含む) ・ <u>研修</u> ・ 要請陳情等
活動の理由 及び その目的	<p>地方自治体の自治能力と地方議会のあり方が問われる中、地方議員による地方議員のために、国や地方政治の課題について考えるセミナーに参加すること。</p> <p>特に今回のテーマは「子どもを守る」であり、「こどもまんなか」を掲げる当市には学ぶべきもの、参考にできるものがあると考え、受講するものである。</p>
活動概要	<p>●実施日 令和5年10月17日(火)～令和5年10月18日(水)</p> <p>●場所 日本青年館ホテル8Fカンファレンスルーム 東京都新宿区霞ヶ丘町4-1</p> <p>●内容 第28回清溪セミナー 住民主体の地方自治を進めるために</p> <p>1日目 10月17日(火) 12:30 開講式 13:00～18:45 講義</p> <p>講義Ⅰ 「二人は同時に親になる～『産後』のずれの処方箋」 講師:狩野さやか(子育てアドバイザー) 育児の視点でジェンダーを考える、夫婦の育児協力体制づくり等</p> <p>講義Ⅱ 「地域における顔の見える切れ目ない子育て支援」 講師:井上登生(小児科医) 小児保健と児童・青年期精神医学</p> <p>講義Ⅲ 「子どもたちのこころと命を守るために ～学校にアウトリーチするNPO～」 講師:重永侑紀(にじいろCAP 子どもNPOセンター福岡代表理事) 子どもへの暴力防止(GAP)プログラムなどを活用しながら各自自治体と連携して子どもたちの相談を聴き続けてきた</p> <p>講義Ⅳ 「子ども家庭庁の創設と子ども政策」 講師:山田太郎(参議院議員)</p> <p>2日目 10月18日(水) 9:00～14:00 講義Ⅴ 「子どもを本気で応援すれば、まちは元気になる」</p>

	<p>講師: 泉房穂(前明石市長)</p> <p>まちづくりにおいて、子どもへの支援をするために何を最優先として進むか、しっかりとした理念と強い意志が必要で、それをやり遂げた経緯等</p> <p>講義VI 「ヤングで終わらないヤングケアラー」</p> <p>講師: 仲田海人(作業療法士)</p> <p>小学校高学年の姉が不登校になり、総合失調症を発症、父の病気等もあり、ヤングケアラーとなる。大人になっても仕事を続けるのが困難でフリーランスの作業療法士として、実体験を講義</p> <p>講義VII 「すべての子どもの成長と、子育てを支えるためには」</p> <p>講師: 野田聖子(衆議院議員)</p> <p>子ども家庭庁創設について</p> <p>14:00～14:30 閉講式</p>
<p>活動成果 及び所感等</p>	<p>以上の項目により講義を聴いた。</p> <p>特に再認識し、滝沢市の参考となることなど。</p> <p>○ 議員以外の講師は子どものために活動し、その実践の様子や課題を実に分かりやすく講演し、納得できるものであった。</p> <p>特に、講義VIの「ヤングで終わらないヤングケアラー」は自分の体験で、大人になっても家族の世話のために勤務を続けられずフリーで活動していること、自分も精神的につらい思いを背負っていることなど、当事者でなければ伝えられないことであった。</p> <p>○ 講義Vの前明石市長の講演は「こどもまんなか」を核としようとしている滝沢市にとっては、大いに参考になる内容であった。</p> <p>1)理念 2)負担の軽減 3)寄り添う支援 4)環境の整備</p> <p>この4つの柱を掲げ子どもを核として「まちづくり」をすると、まわりまわって大人・高齢者も元気になれるという信念のもと、子どもへの支援を最優先するために様々な支援策を考え、経営を貫いて実を結ばせた市長2期の実績は会場の議員を魅了した。</p> <p>わが市においても、市長はじめ、計画から実行にあたり、税金の使い方、働き方を市民目線で積極的に行動してもらいたいと考える。</p> <p>○ 子ども家庭庁創設を総理大臣に直談判して認められたと講演した山田太郎参議院議員の行動に滝沢市においても、職員が市長にきっちりと提言でき、有意義なものは実現できるという素地があるのか確認が必要であり、そうあってほしいと願うものである。</p>

以上により、まさに時宜を得たテーマの有意義な研修であった。



研修行程表

年 月 日	時 刻	行 程
令和5年10月17日 (火)	9:06~11:56	盛岡駅⇒東京駅 (JR 新幹線はやぶさ 108号)
	12:30~18:45	【研修】 日本青年館ホテル 8F カンファレンスルーム (新宿区霞ヶ丘町 4-1) 「第28回清溪セミナー」 【宿泊】 相鉄フレッサイン新橋烏森口 (港区新橋 4丁目 10-2)
令和5年10月18日 (水)	9:00~15:00	【研修】 日本青年館ホテル 8F カンファレンスルーム (新宿区霞ヶ丘町 4-1) 「第28回清溪セミナー」
	16:20~18:33	東京駅⇒盛岡駅 (JR 新幹線はやぶさ 35号)

令和5年12月15日

滝沢市議会議長 角掛 邦彦 様

会 派 名 市民クラブ
代表者名 山谷 仁

政務活動（調査研究・**研修**・要請陳情等）実施報告書

滝沢市議会の政務活動費の交付に関する条例第9条に規定する使途基準に基づき、政務活動（調査研究・**研修**）を実施したので、報告します。

記

1 期日

令和5年11月19日（日） から 令和5年11月21日（火） まで

2 活動場所

全国市町村国際文化研修所（滋賀県大津市唐崎2丁目13番1号）

3 参加者

山谷 仁、柳橋 好子、日向 裕子

4 活動内容

別紙のとおり

政務活動シート

調査主体：市民クラブ

調査項目名称	調査研究(視察含む) ・ <u>研修</u> ・ 要請陳情等
活動の理由 及び その目的	自然災害の発生に備え、日ごろからの防災意識の向上、訓練や備え、助け合える関係づくり、行政との密接な連携が重要となります。 この研修において、平時からの防災の心構えや地域での連携の重要性について学び、現在の防災対策に関連する諸課題や議会・議員の果たすべき役割について考えるために受講しました。
活動概要	<p>●実施日 令和5年11月20日(月)～令和5年11月21日(火)</p> <p>●場所 全国市町村国際文化研修所(滋賀県大津市唐崎2丁目13-1)</p> <p>●内容 市町村議会議員研修 第2回「防災と議員の役割」</p> <p>1日目 11月20日(月)</p> <p>12:30 開講式・オリエンテーション</p> <p>13:00～17:40 講義</p> <p>講義 「大規模地震災害の予測と対応策」 講師:東京大学名誉教授 平田 直 氏 関東大震災100年を教訓として、今後懸念される大規模地震災害等の対応策などを科学的知見から講演</p> <p>講義 「平時の防災と議員の役割」 講師:跡見学園女子大学教授 鍵屋 一 氏 平時からの議員として取り組むべき役割について</p> <p>講義 「平時の防災と議員の役割(ワールドカフェ)」 講師:跡見学園女子大学教授 鍵屋 一 氏 講師:防災企業連合関西そなえ隊 湯井 恵美子 氏 前の講義を踏まえて、ワールドカフェ形式で議員同士で意見交換</p> <p>18:00～ 交流会</p> <p>2日目 11月21日(火)</p> <p>9:00～13:50</p> <p>事例紹介 「災害時における議会の対応と取組」 講師:熊本県人吉市議会議員 徳川 禎郁 氏 コーディネーター:鍵屋 一 氏</p>

	<p>平成28年の熊本地震を教訓に、人吉市議会災害対応指針及び議会災害対応連絡会議設置要綱が制定された。その後の災害でそれがどのように機能したか、また今後の課題など。</p> <p>講義・演習「災害時、復旧・復興期の議員の役割」</p> <p>講師:跡見学園女子大学教授 鍵屋 一 氏</p> <p>講師:防災企業連合関西そなえ隊 湯井 恵美子 氏</p> <p>講義後、グループに分かれて意見交換を行い、議員として何ができるか考える。</p> <p>14:00～15:00</p> <p>ふりかえりとまとめ・閉講</p>
<p>活動成果 及び所感等</p>	<p>以上の項目により講義を受け、議員間で意見交換等を行った。</p> <p>鍵屋一教授の講義から</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 防災の3要素としての大事な視点 <ol style="list-style-type: none"> 1. 危機を予測する力 2. 危機を予防する力 3. 危機に対応する力 <p>そして危機から回復する力も必要</p> ○重要な地域防災政策として <ol style="list-style-type: none"> 1. 住宅の耐震化 2. 要配慮者への支援 3. 防災教育 ○防災のための災害イメージづくり(プロセス) <ol style="list-style-type: none"> 1. 生々しい体験談などを読み、災害に学ぶ 2. 課題・教訓・知恵などを書き出す 3. 日ごろの防災教育 <p>災害時の各議員の役割について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自らの安否・所在地の報告 ・参集指示があるまで地域の救援活動に従事 ・地域の災害情報などの収集及び報告 ・議会災害対策会議から出た情報を住民に伝達 ・連絡体制の確保 <p>その他日ごろから災害対応に関する知識の習得、災害に備えた準備及び訓練に努める。</p> <p>以上、すべて滝沢市及び市議会にも当てはまると考える。</p> <p>また、ワールドカフェで全国の議員から以下の意見が出た。</p>

- ・災害時において、議会と議員はでしゃばるべきではない。
一定の距離を置け
- ・地域によってそれぞれ事情が違うので、地域に合った対策が求められる。
- ・災害時における弱者や女性に対する配慮が必要
- ・職員が他市町村から来ている場合、災害時における対応がまちまちにならないか。(これは滝沢市にも当てはまるのではないか)

以上、非常にタイトな時間割で、研修所に缶詰状態の密度の濃い研修であった。また、気軽に話せるワールドカフェ形式で、全国の議員の地域性なども感じられて有意義な2日間であった。

研 修 行 程 表

年 月 日	時 刻	行 程
令和5年11月19日 (日)	9:06~11:56 12:12~14:23	盛岡駅⇒東京駅 (JR 新幹線はやぶさ 108号) 東京駅⇒京都駅 (JR 新幹線のぞみ 31号) 【宿泊】※前泊 京都第一ホテル 京都駅八条口 (京都市南区東九条下殿田町 45)
令和5年11月20日 (月)	11:00~17:40 18:00~	京都駅⇒唐崎駅 (JR 湖西線) 【研修】 全国市町村国際文化研修所 (滋賀県大津市唐崎 2丁目 13-1) 「第2回 防災と議員の役割」 【交流会】 【宿泊】 全国市町村国際文化研修所
令和5年11月21日 (火)	9:00~15:00 15:30~17:45 18:20~20:33	【研修】 全国市町村国際文化研修所 (滋賀県大津市唐崎 2丁目 13-1) 「第2回 防災と議員の役割」 唐崎駅⇒京都駅 (JR 湖西線) 京都駅⇒東京駅 (JR 新幹線のぞみ 232号) 東京駅⇒盛岡駅 (JR 新幹線はやぶさ 41号)